

平成 27 年度選定  
「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」  
研究進捗状況報告書

アジアのソーシャルワークにおける仏教の可能性に関する総合的研究

法人番号	131044
プロジェクト番号	S1591002L

## 研究進捗状況報告書の概要

### 1 研究プロジェクト

学校法人名	大乘淑徳学園	大学名	淑徳大学
研究プロジェクト名	アジアのソーシャルワークにおける仏教の可能性に関する総合的研究		
研究観点	研究拠点を形成する研究		

### 2 研究プロジェクトの目的・意義及び計画の概要

#### 【目的・意義の概要】

本研究は、現在、ソーシャルワーク(以下、SW と略す)に関する定義や現状認識について、一国を超えた国際機関の俎上において新たな揺らぎや問題提起がなされる中、多くの社会問題に対応するソーシャルワーカーが求められる一方で、現在も「専門職」としての確立が十分とは言えない日本を含むアジア地域において、SW の代替的な機能を担ってきた寺院や僧職者の福祉的実践活動を事例として検討することを通じて、SW における「価値」や「社会資源」としての仏教の可能性の探究を主たる目的としている。その成果は、これまで行われてこなかった「仏教 SW」の体系化につながるものであり、SW とは異なる価値や方法論を、日本を含めたアジア諸国に提示することになると同時に、本来重視されるべき、各国の文化・価値観・歴史・習俗・習慣やその背景に存在する宗教を尊重した SW のあり方やその本質について分析や議論を行っていく、これまでにない切り口でアプローチが行える研究拠点の形成が可能になると考える。

#### 【計画の概要】

当研究プロジェクトは「アジアにおけるソーシャルワークと仏教に関するリサーチ」(研究テーマ 1)と「日本の地域社会におけるソーシャルワークと仏教の協働連携モデルの開発」(研究テーマ 2)の2つの研究テーマを軸に推進していく。

研究テーマ1では、これまでほとんど体系的に実施されてこなかった、アジア諸国における SW の展開状況と、その代替機能を担ってきたと考えられる仏教(宗教)の福祉的実践活動に関するリサーチ(1-1)を行い、各国の現状及び課題の明確化を図る。それと並行して、調査を通じて信頼関係を構築した各国の研究者及び実践者を招聘して国際ワークショップを実施し、議論を深めていく事を通じて、アジア地域に共有できる「仏教 SW」の体系化を試みていく。これまで体系的に実施されてこなかったアジア諸国におけるソーシャルワークの展開状況と、その代替機能を担ってきたと考えられる仏教(宗教)の福祉的実践活動に関するリサーチ(1-2)を行い、各国の現状及び課題の把握を図る。

研究テーマ2では、東日本大震災に際して「日本仏教」が担った福祉的実践活動を主たる事例として取り上げて、アンケート調査や現地ヒアリング等を行い、その分析から現状や課題の明確化を図り、その課題解決・改善のプロセスを通じて、これからの地域社会における寺院の在り方に関するモデルを提示していく。また同時に、仏教をキーワードに日常的に情報共有を行っていく「仏教プラットフォーム」の構築と運用を行っていくことで、日本における仏教 SW の実践モデルをアジア諸国の仏教関係団体及び政府機関に示していく。

法人番号	131044
プロジェクト番号	S1591002L

### 3 研究プロジェクトの進捗及び成果の概要

#### 平成 27 年

・**研究テーマ1**については、初年度の国際ワークショップの位置づけとして、10月9・10日の両日、「アジアのSWにおける仏教の役割」を共通テーマとして淑徳大学創立50周年記念国際学術フォーラム(日本仏教社会福祉学会第50回大会共催)を開催した。これまで本研究テーマに関連した交流のある、ベトナム・スリランカ・ネパールの研究者、実践者をシンポジストとして招聘し、9日は「アジアのSWにおける仏教の役割:現状を中心に」、10日は「アジアのSWにおける仏教の役割:未来へ向けて」の論題でディスカッションを行うとともに、今後5年間でどのような研究を行っていくのか等について共通認識を深めた。またその成果を、1月に報告書として発行した。

また1月から3月の間にスリランカ・ラオス・モンゴル・ミャンマー・中国の各国を訪問し、各国の関係者と、仏教ソーシャルワークの現状を把握するために、視察・情報や資料収集等を行った。

・**研究テーマ2**については、東日本国内における仏教ソーシャルワークに関する調査研究の確認を行い、本研究事業に活かす事のできるものを整理した。

これにより、『東日本大震災における日本仏教各宗派教団の取り組みに関するアンケート調査—報告書—』、『被災地寺院の教訓を今後の寺院防災に活かす聞き取り票(アンケート調査)報告書』、『平成23年3月11日 東日本大震災における仏教系各種団体の震災支援に関するアンケート調査報告書』を発行した。

仏教プラットフォーム関連においては、システム構築に向けた具体的な打合せを開始するとともに、このサイトを活用して頂く日本仏教各宗派関係者に向けた情報交換の機会を得る等、広報的活動を行った。これにより、「災害支援情報交換会」(全日本仏教会主催、平成27年11月27日、明照会館4階第1会議室)では藤森が講師として、「仏教プラットフォーム」を説明した。また、同会の内容を、『全日本仏教会「災害支援情報交換会」報告書』として発行した。

#### 平成 28 年

・**研究テーマ1**については、6月から1月の間に、カンボジア・韓国・ネパール・ブータン・タイ・ミャンマー・モンゴル・ロシア・ラオス・ベトナム等を訪問し、仏教ソーシャルワークの現状を把握するために関係者と視察・情報や資料収集等を行った。これにより①社会事業大学と共同(共催)で行った環太平洋セミナーの報告書(10~11月)を作成、②社会事業大学と共同で「イスラムとソーシャルワーク」をテーマとする環太平洋セミナー(12-1月)、③3月22-23日の2日間に「仏教ソーシャルワーク アジアの仏教は人びとの生活の問題にどうはたらくか」について、淑徳大学国際学術フォーラムのフォーラムとして千葉・三井ガーデンホテル千葉にて開催の成果が得られた。

・**研究テーマ2**については、東日本大震災被災自治体の社会福祉協議会を対象としたアンケート調査「東日本大震災を契機とした地域社会・社会福祉協議会と宗教施設(仏教寺院・神社など)との連携に関する調査」(「被災地社協調査」)を、岩手県・宮城県・福島県の沿岸地域を中心に郵送回収方法によりアンケート調査を開始した。これについては、回収時にヒアリング調査も合わせて行う為、平成29年7月までに主たる対象の調査を完了し、その後、日本仏教社会福祉学会での研究発表、調査報告書の発行を順次行っていく計画を立てた。

「仏教プラットフォーム」については、システム構築の細部をつめ、平成29年3月にウェブ上に公開することができた。

法人番号	131044
プロジェクト番号	S1591002L

平成 29 年

・ **研究テーマ1**については、スリランカ・アフリカ(ザンビア)・インドネシア・ベトナム・中国・ラオス・カナダ・アメリカ等を訪問して、各国の関係者と、仏教ソーシャルワークの現状を把握するための、視察・情報や資料収集等を行った。

また平成 28 年 3 月に開催したフォーラムのテープ起こし原稿と、その他の資料を確認しながら、9 月に英文報告書を発行し 11 月に和文報告書を作成した。英文報告書については、第 24 回アジア太平洋地域ソーシャルワーク合同会議(2017 Asia-Pacific Joint Regional Social Work Conference: Challenges and Responsibilities: Innovative Social Work and Sustainable Development)」(平成 29 年 9 月 26~29 日、中国・深圳)にて参加者に配布した。また、仏教ソーシャルワークの作業定義や研究枠組みに関するこれまでの議論をまとめ、仏教 SW の体系化に向けて『西洋生まれ専門職ソーシャルワークからの仏教ソーシャルワークへ』のほか、モンゴルとベトナムの研究成果を書籍として出版した。

・ **研究テーマ2**については、昨年度から実施してきた東日本大震災被災自治体の社会福祉協議会を対象としたアンケート調査「東日本大震災を契機とした地域社会・社会福祉協議会と宗教施設(仏教寺院・神社など)との連携に関する調査」(「被災地社協調査」)について、福島県 16 社協、宮城県 15 社協、岩手県 12 社協、他に参考ヒアリングとして後方支援を行った 3 社協(各県 1ヶ所)、3 県社協及び全社協の担当部の計 50 社協のアンケート調査及びヒアリングを完了した。

また、9月 10 日に開催された日本仏教社会福祉学会第 52 回大会において、「東日本大震災を契機とした、地域社会・社会福祉協議会と宗教施設(仏教寺院・神社等)との連携に関するアンケート調査 中間報告 1 及び 2」として研究発表を行った(発表者は、藤森雄介、渡邊義昭、共同研究者は、大正大学・鷲見宗信、浄土宗総合研究所・宮坂直樹、宮城県女川町社会福祉協議会・須田めぐみ、全日本仏教青年会・中村悟眞)。

「仏教プラットフォーム」の運営については、ウェブでのサイト開設後、「寺院と災害支援を考えるセミナー」(5 月 29 日、全日本仏教会主催)にて、藤森が講師として本サイトの機能や役割等を説明、浄土宗+ともいき財団が助成を行った諸団体に案内チラシを送付、日本仏教社会福祉学会第 52 回大会(9 月 9・10 日)の際及び公益財団法人全日本仏教会財団創立 60 周年記念式典・第 44 回全日本仏教徒会議福島大会(10 月 13.14 日)の際に参加者に案内チラシを配布、「浄土宗寺院運営実務講座(10 月 20 日)にて、藤森が講師として参加の際に本サイトを紹介、といった広報活動を行った。

法人番号	131044
プロジェクト番号	S1591002L

**平成 27 年度選定「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」  
研究進捗状況報告書**

1 学校法人名 大乘淑徳学園                      2 大学名 淑徳大学

3 研究組織名 アジア仏教社会福祉学術交流センター

4 プロジェクト所在地 千葉市中央区大蔵寺町 200

5 研究プロジェクト名 アジアのソーシャルワークにおける仏教の可能性に関する総合的研究

6 研究観点 研究拠点を形成する研究

7 研究代表者

研究代表者名	所属部局名	職名
藤森 雄介	国際コミュニケーション学部	教授

8 プロジェクト参加研究者数 24 名

9 該当審査区分 理工・情報    生物・医歯    人文・社会

10 研究プロジェクトに参加する主な研究者

研究者名	所属・職名	プロジェクトでの研究課題	プロジェクトでの役割
秋元 樹	淑徳大学・総合福祉学部・教授	1-1 スリランカにおける SW と仏教に関するリサーチ(テーマ 1 代表)	スリランカにおける現状と課題の明確化
田宮 仁	淑徳大学・総合福祉学部・教授	1-2 仏教の実践理論に関する再検討	仏教 SW 体系化の為の課題の明確化
磯岡 哲也	淑徳大学・コミュニティ政策学部・教授	1-1 韓国における SW と仏教に関するリサーチ	韓国における現状と課題の明確化
山口 光治	淑徳大学・総合福祉学部・教授	1-1 ミャンマーにおける SW と仏教に関するリサーチ	ミャンマーにおける現状と課題の明確化
松蘭 祐子	淑徳大学・総合福祉学部・教授	1-1 タイにおける SW と仏教に関するリサーチ	タイにおける現状と課題の明確化
渋谷 哲	淑徳大学・総合福祉学部・教授	1-1 ラオスにおける SW と仏教に関するリサーチ	ラオスにおける現状と課題の明確化
稲垣 美加子	淑徳大学・総合福祉学部・教授	1-2 欧米文化圏における SW と仏教に関するリサーチ	欧米文化圏における先行研究の把握

法人番号	131044
プロジェクト番号	S1591002L

小川 博章	淑徳大学・国際コミュニケーション学部・教授	1-2 モンゴルにおける SW と仏教に関するリサーチ	モンゴルにおける現状と課題の明確化
古宇田 亮修	淑徳大学・長谷川仏教文化研究所	1-1 ブータンにおける SW と仏教に関するリサーチ	ブータンにおける現状と課題の明確化
佐藤 成道	淑徳大学・総合福祉研究科・社会福祉学専攻・博士後期課程	1-1 カンボジアにおける SW と仏教に関するリサーチ	カンボジアにおける現状と課題の明確化
藤森 雄介	淑徳大学・国際コミュニケーション学部・准教授	1-1 他のアジア諸国における SW と仏教に関するリサーチ 2 被災地での各種調査の実施	1-1 アジアにおけるイスラム教の動向の把握 2 被災地からの情報収集
山下 興一郎	淑徳大学・総合福祉学部・准教授	2 社会資源としての宗教(仏教)の可能性に関する事例的研究	社会福祉協議会との協働モデルの提示
齊藤 鉄也	淑徳大学・経営学部・准教授	2 仏教プラットフォームの開発(テーマ2代表)	日本における仏教 SW の実践モデルの提示
石川 到覚	大正大学・教授	1-2 SW 概念の再検討 2 仏教社会福祉学説史の整理	1-2 仏教 SW 体系化の為の課題の明確化 2 関連先行研究のリサーチ
稲場 圭信	大阪大学・准教授	2 社会資源としての宗教(仏教)の可能性に関する事例的研究	行政機関との協働モデルの提示
新保 祐光	大正大学 専任講師	1-2 中国における SW と仏教に関するリサーチ 2 被災地での各種調査の分析	1-2 中国における現状と課題の明確化 2 被災地の現状の明確化
吉水 岳彦	大正大学・非常勤講師	1-1 台湾における SW と仏教に関するリサーチ 2 仏教系実践団体の現状リサーチ	1-1 台湾における現状と課題の明確化 2 被災地の現状の明確化
郷堀 ヨゼフ	上越教育大学院大学 非常勤	1-1 他のアジア諸国における SW と仏教に関するリサーチ	アジアにおけるヒンドゥ教及びキリスト教の動向の把握及び

法人番号	131044
プロジェクト番号	S1591002L

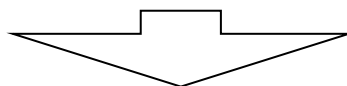
	講師		
菊池 結	仏教総合研究所・研究員	1-1 ベトナムにおけるソーシャルワークと仏教に関するリサーチ	ベトナムにおける現状と課題の明確化
(共同研究機関等)			

<研究者の変更状況(研究代表者を含む)>

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
1-1 スリランカにおけるSWと仏教に関するリサーチ(テーマ1代表)	淑徳大学・総合福祉学部・教授	秋元 樹	スリランカにおける現状と課題の明確化

(変更の時期:平成28年4月1日)



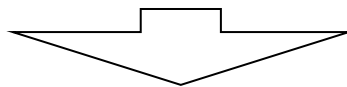
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
淑徳大学・総合福祉学部・教授	淑徳大学・アジア国際社会福祉研究所・所長、教授	秋元 樹	スリランカにおける現状と課題の明確化

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
1-2 仏教の実践理論に関する再検討	淑徳大学・総合福祉学部・教授	田宮 仁	仏教SW体系化の為の課題の明確化

(変更の時期:平成29年4月1日)



新

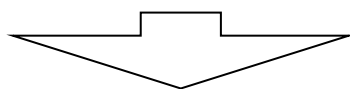
変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
淑徳大学・総合福祉学部・教授	淑徳大学・総合福祉学部・非常勤講師	田宮 仁	仏教SW体系化の為の課題の明確化

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
1-2 モンゴルにおけるSWと仏教に関するリサーチ	淑徳大学・国際コミュニケーション学部・教授	小川 博章	モンゴルにおける現状と課題の明確化

(変更の時期:平成30年4月1日)

法人番号	131044
プロジェクト番号	S1591002L



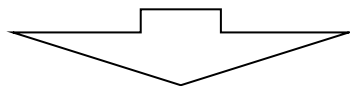
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
淑徳大学・国際コミュニケーション学部・教授	淑徳大学・人文学部・教授	小川 博章	モンゴルにおける現状と課題の明確化

旧

プロジェクト外での研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
1-1 他のアジア諸国におけるにおけるSWと仏教に関するリサーチ 2 被災地での各種調査の実施	淑徳大学・国際コミュニケーション学部・准教授	藤森 雄介	1-1 アジアにおけるイスラム教の動向の把握 2 被災地からの情報収集

(変更の時期:平成 28 年 4 月 1 日)



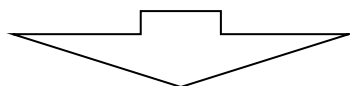
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
淑徳大学・国際コミュニケーション学部・教授	淑徳大学・アジア国際社会福祉研究所・教授	藤森 雄介	1-1 ブータン及びカンボジアにおける現状と課題の明確化 2 全体の統括及び被災地からの情報収集

旧

プロジェクト外での研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
2 仏教プラットフォームの開発(テーマ2 代表)	淑徳大学・経営学部・准教授	齊藤 鉄也	日本における仏教SWの実践モデルの提示

(変更の時期:平成 30 年 4 月 1 日)



新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
淑徳大学・経営学部・准教授	淑徳大学・経営学部・教授	齊藤 鉄也	日本における仏教SWの実践モデルの提示

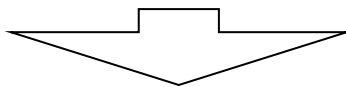
旧

プロジェクト外での研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
1-2 SW 概念の再検討 2 仏教社会福祉学説史の整理	大正大学・教授	石川 到覚	1-2 仏教SW体系化の為の課題の明確化 2 関連先行研究のリサーチ



法人番号	131044
プロジェクト番号	S1591002L

(変更の時期:平成 29 年 4 月 1 日)



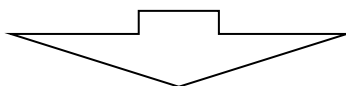
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
大正大学・教授	大正大学・名誉教授	石川 到覚	1-2 仏教 SW 体系化の為の課題の明確化 2 関連先行研究のリサーチ

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
2 社会資源としての宗教(仏教)の可能性に関する事例的研究	大阪大学・准教授	稲場 圭信	行政機関との協働モデルの提示

(変更の時期:平成 28 年 4 月 1 日)



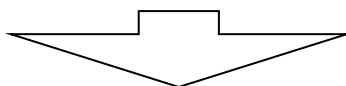
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
大阪大学・准教授	大阪大学大学院・教授	稲場 圭信	行政機関との協働モデルの提示

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
1-2 中国における SW と仏教に関するリサーチ 2 被災地での各種調査の分析	大正大学・専任講師	新保 祐光	1-2 中国における現状と課題の明確化 2 被災地の現状の明確化

(変更の時期:平成 27 年 4 月 1 日)



新

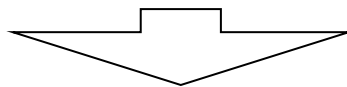
変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
大正大学・専任講師	大正大学・准教授	新保 祐光	1-2 中国における現状と課題の明確化 2 被災地の現状の明確化

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
1-1 他のアジア諸国における SW と仏教に関するリサーチ	上越教育大学院大学 非常勤講師	郷堀 ヨゼフ	アジアにおけるヒンドゥ教及びキリスト教の動向の把握

法人番号	131044
プロジェクト番号	S1591002L

(変更の時期:平成 28 年 4 月 1 日)



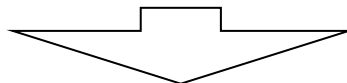
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
上越教育大学院大学非常勤講師	淑徳大学・アジア国際社会福祉研究所・准教授	郷堀 ヨゼフ	1-1 リサーチ統括及び全体のコーディネータ

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
1-1 韓国におけるSWと仏教に関するリサーチ	淑徳大学・コミュニケーション政策学部・教授	磯岡 哲也	韓国における現状と課題の明確化

(変更の時期:平成 30 年 3 月 31 日)



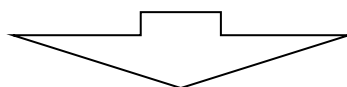
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
削除			

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
1-1 ブータンにおけるSWと仏教に関するリサーチ	淑徳大学・長谷川仏教文化研究所	古宇田 亮修	ブータンにおける現状と課題の明確化

(変更の時期:平成 28 年 3 月 31 日)



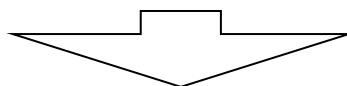
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
削除			

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
1-1 カンボジアにおけるSWと仏教に関するリサーチ	淑徳大学・総合福祉研究科・社会福祉学専攻・博士後期課程	佐藤 成道	カンボジアにおける現状と課題の明確化

(変更の時期:平成 28 年 3 月 31 日)



新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割

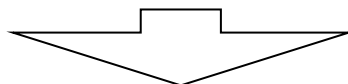
法人番号	131044
プロジェクト番号	S1591002L

削除			
----	--	--	--

旧

プロジェクト外での研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
1-1 ベトナムにおけるソーシャルワークと仏教に関するリサーチ	仏教総合研究所・研究員	菊池 結	ベトナムにおける現状と課題の明確化

(変更の時期:平成 28 年 10 月 31 日)



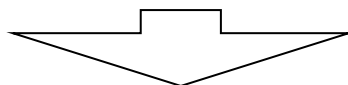
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
削除			

旧

プロジェクト外での研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割

(変更の時期:平成 28 年 4 月 1 日)



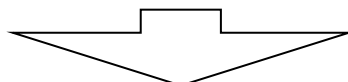
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
追加	淑徳大学・アジア国際社会福祉研究所・助教	松尾 加奈	ベトナムにおける現状と課題の明確化 アジアにおける他宗教(イスラム、ヒンドゥー(ネパール)、キリスト教)の動向

旧

プロジェクト外での研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割

(変更の時期:平成 28 年 4 月 1 日)



新

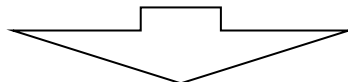
変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
追加	淑徳大学・総合福祉学部・教授	西尾 孝司	ラオスにおける現状と課題の明確化

旧

法人番号	131044
プロジェクト番号	S1591002L

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割

(変更の時期:平成 28 年 7 月 1 日)



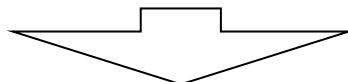
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
追加	東京通信大学・助教	藤田 則貴	韓国における現状と課題の明確化

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割

(変更の時期:平成 28 年 7 月 1 日)



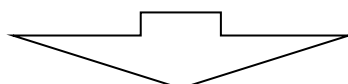
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
追加	清和短期大学・専任講師	劉 光鍾	韓国における現状と課題の明確化

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割

(変更の時期:平成 28 年 7 月 1 日)



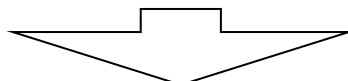
新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
追加	東京 YMCA 医療福祉専門学校・専任講師	渡邊 義昭	被災地関連調査

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割

(変更の時期:平成 28 年 10 月 1 日)



新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
追加	専修大学・職員	安藤 徳明	タイにおける現状と課

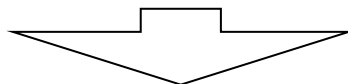
法人番号	131044
プロジェクト番号	S1591002L

			題の明確化
--	--	--	-------

旧

プロジェクトでの研究課題	所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割

(変更の時期:平成 28 年 12 月 1 日)



新

変更前の所属・職名	変更(就任)後の所属・職名	研究者氏名	プロジェクトでの役割
追加	大正大学・教授	金 潔	1 中国における現状と課題の明確化

法人番号	131044
プロジェクト番号	S1591002L

## 11 研究進捗状況(※ 5枚以内で作成)

### (1) 研究プロジェクトの目的・意義及び計画の概要

#### 【目的・意義の概要】

本研究は、現在、SW に関する定義や現状認識について、一国を超えた国際機関の俎上において新たな揺らぎや問題提起がなされる中、多くの社会問題に対応するソーシャルワーカーが求められる一方で、現在も「専門職」としての確立が十分とは言えない日本を含むアジア地域において、SW の代替的な機能を担ってきた寺院や僧職者の福祉的実践活動を事例として検討することを通じて、SW における「価値」や「社会資源」としての仏教の可能性の探究を主たる目的としている。その成果は、これまで行われてこなかった「仏教 SW」の体系化につながるものであり、SW とは異なる価値や方法論を、日本を含めたアジア諸国に提示することになると同時に、本来重視されるべき、各国の文化・価値観・歴史・習俗・習慣やその背景に存在する宗教を尊重した SW のあり方やその本質について分析や議論を行っていく、これまでにない切り口でアプローチが行える研究拠点の形成が可能になると考える。

#### 【計画の概要】

当研究プロジェクトは「アジアにおけるソーシャルワークと仏教に関するリサーチ」(研究テーマ 1)と「日本の地域社会におけるソーシャルワークと仏教の協働連携モデルの開発」(研究テーマ 2)の2つの研究テーマを軸に推進していく。

テーマ1では、アジアにおけるフィールドワークを通して「仏教」の持つ特性の可視化を試み、SW 及び仏教の実践理論整理・再検討を行うとともに、本研究に関連する研究の蓄積があると考えられる欧米文化圏の研究機関へもリサーチを行い、先行研究のデータベース化を行う。

研究テーマ2では、東日本大震災に際して「日本仏教」が担った福祉的実践活動を主たる事例として取り上げて、アンケート調査や現地ヒアリング等を行い、その分析から現状や課題の明確化を図り、その課題解決・改善のプロセスを通じて、これからの地域社会における寺院の在り方に関するモデルを提示していく。また同時に、仏教をキーワードに日常的に情報共有を行っていく「プラットフォーム」の構築と運用を行っていくことで、日本における仏教 SW の実践モデルをアジア諸国の仏教関係団体及び政府機関に示していく。

### (2) 研究組織

藤森雄介(国際コミュニケーション学部・教授、アジア仏教社会福祉学術交流センター長代行、日本仏教社会福祉学会・理事兼事務局長兼東日本大震災対応プロジェクト委員長、公益財団法人全日本仏教会支援検討委員など)を研究代表者とし、テーマを以下の構成員で推進する。

テーマ1:「アジアにおけるソーシャルワークと仏教に関するリサーチ」:(秋元、田宮、磯岡、山口、松園、渋谷、稲垣、小川、小宇田、佐藤、藤森、石川、新保、吉水、郷堀、菊池):アジア諸国における SW の展開状況と、その代替的機能を担ってきたと考えられる仏教(宗教)の福祉的実践活動に関するリサーチを行い、各国の現状及び課題の明確化を図る。

テーマ2:「日本の地域社会におけるソーシャルワークと仏教の協働連携モデルの開発」:(藤森、山下、斎藤、石川、稲場、新保、吉水):東日本大震災に際して「日本仏教」が担った福祉的実践活動を主たる事例として取り上げて、アンケート調査や現地ヒアリング等を行い、これからの地域社会における寺院の在り方に関するモデルを提示する。

### (3) 研究施設・設備等

千葉県千葉市中央区大巖寺町 200 淑徳大学 アジア仏教社会福祉学術交流センター 61 m<sup>2</sup>の施設を利用。

- 研究プロジェクト用 PC を 4 台(統括データ管理用 1 台、各研究テーマ用 2 台、プレゼン用ノート型 1 台)

法人番号	131044
プロジェクト番号	S1591002L

- ・ 事務机、椅子を棚 4 セット、及びコピー機、プリンタ等事務実務用機器 1 式
- ・ ミーティング用のテーブル 1 脚、椅子 8 脚

(4)進捗状況・研究成果等 ※下記、13及び14に対応する成果には下線及び\*を付すこと。

<現在までの進捗状況及び達成度>

本研究は、研究開始(平成 27 年 10 月)から第 4 年度の現在に至るまで、研究テーマ調書の「年度別の具体的な研究内容」に記した内容から大きく逸脱することなく進んでいるが、経時的には下記のとおり多少遅れを持って進んでいる。この遅れについては、鋭意研究を重ね、来年度に解消し、全ての研究課題は研究期間内に全て達成可能である。

研究テーマ 年度	1 アジア SW と仏教の研究	2 日本地域社会の SW と仏教の協働連携モデル開発
平成 27 年度 【初年度】	① アジア SW における仏教の役割」を共通テーマとするフォーラムの開催(10月実施済) ② 海外研究者、実践者と今後の研究進捗の共通認識を深める(10月実施済)。 ③ 1-1 1-2:フィールド調査実施受入れの研究機関等との調整を行い、現地調査を開始(3月実施済)。 ① 上記フォーラムの報告書を発行(1月実施済)。	① アンケート調査実施済の東日本大震災における「日本仏教」の動向について、先行調査を基に詳細分析を行う(10月実施済)。 ② 被災した岩手県、宮城県、福島県の計 42 の市町村に設置されている社会福祉協議会に対するアンケート調査を実施。(計 50 社協に 29 年度実施済) ③ 年度末にアンケート調査の分析結果を報告書として刊行(30 年度実施予定)。
平成 28 年度 【第 2 年度】	① 1-1 数か国訪問し SW のフィールド調査を実施(3月実施済)。 ② 1-2 数か国訪問し SW のフィールド調査を実施するとともに、「欧米文化圏の研究」を行う(3月実施済)。 ③ 上記調査の報告書を発行(次年度に実施)。	① 被災に設置されている社会福祉協議会にアンケート調査を行い、調査結果の整理とそこでの課題の明確化(29 年度実施済)。 ② プラットフォームの試験的稼働を行って 10 月中に本格稼働(3 月実施済)。また、シンポジウムを実施してプラットフォームの可能性と周知を行う関係機関、団体等の参加を募る(29 年度実施済)。 ③ 上記分析結果を報告書として刊行(30 年度実施予定)。
平成 29 年度 【第 3 年度】	① 1-1 前年度の情報収集に基づき、フィールド調査を実施する(3月実施済)。 ② 1-2「欧米文化圏の研究機関への研究」を実施する(3月実施済)。 ③ 上記フォーラムの報告書を発	① これまでのアンケート調査を踏まえ、復興の途上の寺院と地域社会の日常における連携や協働のあり方を検討する地域を 6 カ所程度(各県 2~3 カ所)選び、課題や解決改善を探る(3 月実施済み)。 ② プラットフォームに参加している関係機

法人番号	131044
プロジェクト番号	S1591002L

	行し、外部評価委員より中間評価を受ける(9月(英文)11月(和文)実施済み)。	関、団体等が一堂に集える懇談会を10月に実施し、要望や改善点等についての情報収集(平成31年度実施予定)。 ③ 特にプラットフォームの構築から運営に至るまでの報告書を作成し、外部評価委員から中間評価を受ける(30年度実施予定)。
--	---	---

<特に優れた研究成果>

(テーマ1)

(平成27年度)

- 一部のシンポジウムを、淑徳大学総合福祉学部の授業の一環として行い、さらに、日本仏教社会福祉学会年次大会と共同で開催したシンポジウムもあり、学生、学会員に対して話題提供、諸外国の社会福祉、仏教社会の事情について情報提供などを行った。(※論文4~27)

(平成28年度)

- 各対象国のデータ・情報・資料の確認及び整理ができたため、この成果物を基にしながら、学部・大学院の授業へと還元できるよう、調整を行っている。各対象国の生活や文化を紹介しながら、仏教とソーシャルワークに関する研究成果の一部を提示し、今後社会福祉分野を担う世代にとって考える材料なり刺激なり、平成30年度以降、研究成果を教育へ還元させていく予定である。(※論文29~32)

(平成29年度)

- 研究活動の成果を学術報告書のほか、研究シリーズの書籍は5冊出版された。本事業で取り上げている議論全体の枠組みを示す0号、モンゴル版、ベトナム版の英語版3冊と、日本語版の0号1冊及びモンゴル号のモンゴル語版1冊それぞれ出版された。また、9月に中国・深圳で開催されたISSW・APASWEの国際会議や1月開催のバングラデシュでの国際シンポジウムなどで研究発表を行う、これまで研究成果を発信した。(※図書1~5)(※学会発表4、7~9)

(テーマ2)

(平成27年度)

- 『東日本大震災における日本仏教各宗派教団の取り組みに関するアンケート調査 一報告書一』(※論文1)、『被災地寺院の教訓を今後の寺院防災に活かす聞き取り票(アンケート調査)報告書』(※論文2)、『平成23年3月11日 東日本大震災における仏教系各種団体の震災支援に関するアンケート調査報告書』(※論文3)を発行し、先行して行われていた調査について、より詳細な分析を行った。(※論文28)

(平成28年度)

- 東日本大震災被災自治体の社会福祉協議会を対象としたアンケート調査「東日本大震災を契機とした地域社会・社会福祉協議会と宗教施設(仏教寺院・神社など)との連携に関する調査」(以下、「被災地社協調査」)について、調査計画を立て、調査を開始した。特に質問内容の検討については、宮城県女川町社会福祉協議会の現職の方に協力を頂き、より明確な回答が得られるよう工夫を凝らすことが出来た。また、当初予定していたアンケート調査に加えて、回収時に担当者からのヒアリングを行うことで、実質的な時間はかかってしまうものの、より実情に即した意見を汲み取ることができたこととなった。
- 「仏教プラットフォーム」の構築にあたっては、より使いやすいシステムやリスク管理等の検討を重ね、まさにこれまでなかった情報共有の場をウェブ上に公開することが出来た。(※学会発表1)



法人番号	131044
プロジェクト番号	S1591002L

(平成 29 年度)

- ・ 昨年度より開始した「被災地社協調査」については、当初の対象を拡大して東北三県の被災地域の実質的な全数調査を行い、福島県 16 社協、宮城県 15 社協、岩手県 12 社協、他に参考ヒアリングとして後方支援を行った 3 社協(各県 1ヶ所)、3 県社協及び全社協の担当部の計 50 社協のアンケート調査及びヒアリングを完了することができた。(＊論文47)

<問題点とその克服方法>

テーマ1については、複数の言語を扱う研究プロジェクトであるため、研究成果を纏める際に翻訳や校正作業にかなりの時間や費用を費やしている。翻訳作業における解釈の問題、専門用語の問題、国によって異なる背景や概念などを意識しながら、各地の共同研究者と確認作業を徹底して行っている。また、上述したように対象国によって研究体制や諸事情が異なるため、進展度も異なる。本事業全体の運営と同時に、形成されつつある研究基盤(研究ネットワーク)の今後運営を想定しながら、カウンターパートと密接に連携を取り、各国事情の把握に努めている。必要に応じて、研究支援などを提供しており、すべての対象国での研究活動、執筆活動を円滑に進められるよう努めている。

テーマ2については、アンケート調査、「仏教プラットフォーム」とも研究の方針にブレはないものの、当初の想定よりも時間がかかってしまっており、その結果研究計画に対する進捗に少なくない遅れが生じてしまっている。また、「仏教プラットフォーム」については、関係団体やその関係者からは、基本的な考え方やウェブ上での公開に関しては概ね好意的に評価して頂いているものの、実際に登録して頂くまでには至っていないという課題が生じている。

今後、アンケート調査の分析、「仏教プラットフォーム」の広報とも共同研究者、協力者、協力団体等に新たに加わって頂き、課題の解決を図っていく。

<研究成果の副次的効果(実用化や特許の申請など研究成果の活用の見通しを含む。)>

テーマ1の共通言語として英語が使われており、研究成果も英文として出版されるが、同時に、日本語版と対象国現地言語版を予定している。これは、研究者や専門家のみならず、日本、海外、各対象国の実践者及び学生を読者層として考えており、教育研修への還元、実践への還元といった効果が考えられる。また、各対象国の現状を客観的かつ学術的にまとめたことにより、研究対象となった各地の寺院等にとって自らの活動を再認識できると考えられる。更に、仏教ソーシャルワークを取り上げることにより、ソーシャルワークそのものの議論及び概念にも影響を及ぼすことが考えられ、ソーシャルワークを問い直すきっかけになるといった効果も期待できる。

テーマ2については、特に「被災地社協調査」を通じて、当初想定した以上に、各地域の中で寺院や僧侶が「社会資源」として期待されている事が明らかとなったことは、ある意味でうれしい誤算であった。この期待に応えられるようなモデル事例を幾つか提示することが出来れば、地域社会と寺院、僧侶双方に価値のある関係性を見出すことも期待できる。そしてその関係を持続的なものにするために「仏教プラットフォーム」を活かすことができれば、より効果的に本研究の成果を社会に還元できると考えられる。

<今後の研究方針>

テーマ1では、まだ調査が完了していない対象国の研究活動を進めると同時に、これまで実施してきた国別プロジェクトとは異なり、国毎ではなく、研究テーマ毎(例: 仏教と政権、仏典、等)で進めていく方針である。これは国別現状把握のみならず、仏教ソーシャルワークへの理解を深め議論をさらに進めるためである。

テーマ2については、「被災地社協調査」の分析と報告書の作成と同時に、本調査で把握できた地域社会の中で継続的に行われている寺院、僧侶の社会的実践活動を 5~10ヶ所程度選定し、「モデル事例」として詳細な調査を進めていく。また、「仏教プラットフォーム」については、今後2年間で50団体(寺院)以上の登録を目指して広報活動を行っていく。

<今後期待される研究成果>

テーマ1については、「SWにおける仏教の可能性」に関する議論を更に深め国際的に通用する

法人番号	131044
プロジェクト番号	S1591002L

仏教 SW の体系化が可能になる。また「仏教」の持つ特性の可視化を試み、SW 及び仏教の実践理論の整理・再検討を行い先行研究のデータベース化を行う。

テーマ2については、「被災地社協調査」の集計、分析、報告を行っていくことで、地域社会において、寺院や僧侶が「社会資源」どの程度期待されているのか、客観的なデータに基づいて明らかにすることができる。また、その期待に応える手がかりとして、5～10 の関連する「モデル事例」を提示することで、地域社会における寺院・僧侶の更なる社会的実践活動の展開が期待できる。その様な諸活動を後方支援する機能として「仏教プラットフォーム」が活用されることで地域社会と寺院の日常の繋がりの強化、継続が可能になる。この一連の研究成果は、諸外国に対しては日本における仏教ソーシャルワークの現状として発信できる。

- ・また国内に対しては、日常の延長線上にある災害等の非常時の際の役割として、寺院や僧侶の持つ機能を活かす事に繋がると考えている。

#### <自己評価の実施結果及び対応状況>

年2回実施されている「アジア国際社会福祉研究所運営委員会」において、本研究事業に関する報告を行い、運営委員からの評価を受けている。また、毎年発行されている『淑徳大学年報』にて、PDCA サイクルに基づいた自己点検・評価を行っている。

#### <外部(第三者)評価の実施結果及び対応状況>

これまで開催してきた国際学術フォーラム、専門家会議等に際して、学外からの出席者、参加者の方々から本研究に関する評価や貴重なご意見、ご助言を頂くことができた。平成30年度は外部の教育研究機関に所属する研究者3名に外部評価を依頼して、最終年度に向けた本研究の評価をして頂く予定である。

法人番号	131044
プロジェクト番号	S1591002L

12 キーワード(当該研究内容をよく表していると思われるものを8項目以内で記載してください。)

- (1) ソーシャルワーク                      (2) アジア                                      (3) 仏教  
(4) 宗教                                      (5) 寺院                                      (6) 震災  
(7) 僧侶                                      (8) \_\_\_\_\_

13 研究発表の状況(研究論文等公表状況。印刷中も含む。)

上記、11(4)に記載した研究成果に対応するものには\*を付すこと。

<雑誌論文>

1. \*1『東日本大震災における日本仏教各宗派教団の取り組みに関するアンケート調査 ―報告書―』監修 財団法人 全日本仏教会 日本仏教社会福祉学会 編著 日本仏教社会福祉学会東日本大震災対応プロジェクト委員会 淑徳大学 藤森雄介研究室発行 平成27年10月11日、淑徳大学 藤森雄介研究室
2. \*2『被災地寺院の教訓を今後の寺院防災に活かす聞き取り票(アンケート調査) 報告書』監修 財団法人 全日本仏教会、日本仏教社会福祉学会、仏教NGOネットワーク(BNN) 編著 日本仏教社会福祉学会東日本大震災対応プロジェクト委員会 淑徳大学 藤森雄介研究室発行 平成27年10月11日、淑徳大学 藤森雄介研究室
3. \*3『平成23年3月11日 東日本大震災における仏教系各種団体の震災支援に関するアンケート調査 報告書』監修 財団法人 全日本仏教会、日本仏教社会福祉学会、仏教NGOネットワーク(BNN)編著 日本仏教社会福祉学会東日本大震災対応プロジェクト委員会 淑徳大学 藤森雄介研究室発行 平成27年10月11日、淑徳大学 藤森雄介研究室
4. \*4 Akimoto, T., Sakamoto, E., Kikuchi, Y. (2015) Buddhist “Social Work” Activities in Asia. Asian Center for Social Work Research, Shukutoku Uni., 10.2015
5. \*5 Bobby (2015) The Role of Myanmar Buddhist Monks and Nuns in Social Work. In: Akimoto, T., Sakamoto, E., Kikuchi, Y. (2015) Buddhist “Social Work” Activities in Asia. Asian Center for Social Work Research, Shukutoku Uni., pp.89-108, 10.2015
6. \*6 Herath, M.D.R., Wickramasinghe, A.(2015) Buddhist “Social Work” Activities in Asia: Sri Lankan Case Study. In: Akimoto, T., Sakamoto, E., Kikuchi, Y. (2015) Buddhist “Social Work” Activities in Asia. Asian Center for Social Work Research, Shukutoku Uni., pp.13-42, 10.2015
7. \*7 Loan, N.H. , Kikuchi, Y. (2015) Social Work Activities by Buddhist Temples and Monks/ Nuns in Vietnam. In: Akimoto, T., Sakamoto, E., Kikuchi, Y. (2015) Buddhist “Social Work” Activities in Asia. Asian Center for Social Work Research, Shukutoku Uni., pp.43-74, 10.2015
8. \*8 Onopas, S. (2015) Buddhist Social Work Activities in Thailand. In: Akimoto, T., Sakamoto, E., Kikuchi, Y. (2015) Buddhist “Social Work” Activities in Asia. Asian Center for Social Work Research, Shukutoku Uni., pp.75-88, 10.2015
9. \*9 Sangpo Sherpa, A.K. (2015) Social Welfare in Nepal Conducted by Buddhist Monasteries. In: Akimoto, T., Sakamoto, E., Kikuchi, Y. (2015) Buddhist “Social Work” Activities in Asia. Asian Center for Social Work Research, Shukutoku Uni., pp.109-130, 10.2015

法人番号	131044
プロジェクト番号	S1591002L

10. \*10 秋元樹(監)、郷堀ヨゼフ(編)『仏教“ソーシャルワーク”と西洋専門職ソーシャルワーク 一次の第一歩』淑徳大学 長谷川仏教文化研究所アジア仏教社会福祉学術交流センター、2016年1月
11. \*11 秋元樹(2016)「アジアにおける仏教ソーシャルワークの現状 —五カ国調査の趣旨について」秋元樹(監)、郷堀ヨゼフ(編)『仏教“ソーシャルワーク”と西洋専門職ソーシャルワーク 一次の第一歩』淑徳大学 長谷川仏教文化研究所アジア仏教社会福祉学術交流センター、2016年1月
12. \*12 Akimoto, T. (2016) The present state of Buddhist “Social Work” Activities in Asia – Introduction. In: Gohori, J. (ed.) Buddhist “Social Work” and Western-rooted Professional Social Work: The next first step. Hasegawa Research Institute for Buddhist Culture, Asian Center for Social Research Exchange, Shukutoku University, pp. 13–14, 1.2016
13. \*13 Bobby (2016) The Role of Myanmar Buddhist Monks and Nuns in Social Work. In: Gohori, J. (ed.) Buddhist “Social Work” and Western-rooted Professional Social Work: The next first step. Hasegawa Research Institute for Buddhist Culture, Asian Center for Social Research Exchange, Shukutoku University, pp. 19–20, 1.2016
14. \*14 ボビー(2016)「ミャンマーのソーシャルワークにおける仏教僧侶と尼僧の役割」秋元樹(監)、郷堀ヨゼフ(編)『仏教“ソーシャルワーク”と西洋専門職ソーシャルワーク 一次の第一歩』淑徳大学 長谷川仏教文化研究所アジア仏教社会福祉学術交流センター、2016年1月
15. \*15 Gohori, J. (ed.) Buddhist “Social Work” and Western-rooted Professional Social Work: The next first step. Hasegawa Research Institute for Buddhist Culture, Asian Center for Social Research Exchange, Shukutoku University, 1.2016
16. \*16 Herath, M.D.R., Wickramasinghe, A.(2016) Buddhist “Social Work” Activities in Asia; Sri Lankan Case Study. In: Gohori, J. (ed.) Buddhist “Social Work” and Western-rooted Professional Social Work: The next first step. Hasegawa Research Institute for Buddhist Culture, Asian Center for Social Research Exchange, Shukutoku University, pp. 30–36, 1.2016
17. \*17 ヘラ, M.D.R., ウィカラムシンゲ, A.(2016)「スリランカにおけるソーシャルワーク活動」秋元樹(監)、郷堀ヨゼフ(編)『仏教“ソーシャルワーク”と西洋専門職ソーシャルワーク 一次の第一歩』淑徳大学 長谷川仏教文化研究所アジア仏教社会福祉学術交流センター、2016年1月
18. \*18 Loan, N.H. (2016) Buddhist social work in Vietnam. In: Gohori, J. (ed.) Buddhist “Social Work” and Western-rooted Professional Social Work: The next first step. Hasegawa Research Institute for Buddhist Culture, Asian Center for Social Research Exchange, Shukutoku University, pp. 26–29, 1.2016
19. \*19 ローン, N.H. (2016)「ベトナムにおける仏教ソーシャルワークについて」秋元樹(監)、郷堀ヨゼフ(編)『仏教“ソーシャルワーク”と西洋専門職ソーシャルワーク 一次の第一歩』淑徳大学 長谷川仏教文化研究所アジア仏教社会福祉学術交流センター、2016年1月
20. \*20 Onopas, S. (2016) Buddhist “Social Work” Activities in Thailand. In: Gohori, J. (ed.) Buddhist “Social Work” and Western-rooted Professional Social Work: The next first step. Hasegawa Research Institute for Buddhist Culture, Asian Center for Social Research Exchange, Shukutoku University, pp. 22–25, 1.2016
21. \*21 オノパス, S. 「タイにおける仏教の「ソーシャルワーク」活動」秋元樹(監)、郷堀ヨゼフ(編)『仏教“ソーシャルワーク”と西洋専門職ソーシャルワーク 一次の第一歩』淑徳大学 長谷川仏教文化研究所アジア仏教社会福祉学術交流センター、2016年1月

法人番号	131044
プロジェクト番号	S1591002L

22. \*22 Sangpo Sherpa, A.K. (2016) Buddhist Social Welfare in Nepal. In: Gohori, J. (ed.) Buddhist “Social Work” and Western-rooted Professional Social Work: The next first step. Hasegawa Research Institute for Buddhist Culture, Asian Center for Social Research Exchange, Shukutoku University, pp. 15-19, 1.2016
23. \*23 サンポ・シェルパ, A.K. (2016) 「ネパールにおける仏教社会福祉」秋元樹(監)、郷堀ヨゼフ(編)『仏教“ソーシャルワーク”と西洋専門職ソーシャルワーク 一次の第一歩』淑徳大学 長谷川仏教文化研究所アジア仏教社会福祉学術交流センター、2016年1月
24. \*24 Wickramasinghe, A., Chandana, W.K.A., Akimoto, T. (2016) The Buddhist Monks Involved Social work in Sri Lanka – The Findings of Practice Based Research. In: Gohori, J. (ed.) Buddhist “Social Work” and Western-rooted Professional Social Work: The next first step. Hasegawa Research Institute for Buddhist Culture, Asian Center for Social Research Exchange, Shukutoku University, pp. 37-40, 1.2016
25. \*25 ウィカラマシング, A., チャンダナ, W.K. A., 秋元樹 (2016)「ソーシャルワーク活動に携わっているスリランカの僧侶たち —調査報告」秋元樹(監)、郷堀ヨゼフ(編)『仏教“ソーシャルワーク”と西洋専門職ソーシャルワーク 一次の第一歩』淑徳大学 長谷川仏教文化研究所アジア仏教社会福祉学術交流センター、2016年1月
26. \*26 Akimoto, T., Fujioka, T., Matsuo, K. (eds.) Islamic Social Work Practice: Experiences of Muslim Activities in Asia. Hasegawa Research Institute for Buddhist Culture (Shukutoku University), Asian Center for Welfare in Society (Japan College of Social Work), 3.2016 (アジア地域におけるイスラム教ソーシャルワーク実践)
27. \*27 『全日本仏教会「災害情報交換会」報告書』発行日 平成 28 年 3 月 31 日 淑徳大学 長谷川仏教文化研究所アジア仏教社会福祉学術交流センター(編集責任者:藤森雄介)発行
28. \*28 秋元樹(編)『宗教とソーシャルワーク ～仏教の場合～イスラム教の場合～』アジア仏教社会福祉学術交流センター、淑徳大学、2016年9月
29. \*29 Akimoto, T., Fujioka, T., Matsuo, K. (eds.) Religion and Social Work: How Does Islamic “Social Work” Operate in Asia? Social Work Research Institute (Japan College of Social Work), Asian Research Institute for International Social Work, Shukutoku Uni., 3.2017(宗教とソーシャルワーク: イスラム“ソーシャルワーク”はどのように行われているのか)
30. \*30 松尾加奈 アジアのソーシャルワークにおける宗教の可能性—イスラム教の場合— 淑徳大学社会福祉研究所紀要 総合福祉研究第 21 号 2017 年 3 月 pp.85-98 2017
31. \*31 Akimoto, T., Gohori, J., Sakamoto, E. (eds.) How is Asian Buddhism Involved in People’s Life? : Exploring the Buddhist Social Work. Building the Asian Buddhist Social Work Research Network. Asian Research Institute for International Social Work, Shukutoku Uni., 9.2017
32. \*32 Bobby (2017) Parahita: A Model of Buddhist Social Work in Myanmar. In: Akimoto, T., Gohori, J., Sakamoto, E. (eds.) How Is Asian How is Asian Buddhism Involved in People’s Life? : Exploring the Buddhist Social Work. Building the Asian Buddhist Social Work Research Network. Asian Research Institute for International Social Work, Shukutoku Uni., pp.12-17, 9.2017
33. Bora, Ch. (2017) The Development of Social Work Education in Cambodia. In: Akimoto, T., Gohori, J., Sakamoto, E. (eds.) How Is Asian How is Asian Buddhism Involved in People’s Life? : Exploring the Buddhist Social Work. Building the Asian Buddhist Social Work Research Network. Asian Research Institute for International Social Work, Shukutoku Uni., pp.18-21, 9.2017
34. Bulgan, T. (2017) Buddhist Social Work in Mongolia. In: Akimoto, T., Gohori, J., Sakamoto, E.

法人番号	131044
プロジェクト番号	S1591002L

- (eds.) How Is Asian How is Asian Buddhism Involved in People's Life? : Exploring the Buddhist Social Work. Building the Asian Buddhist Social Work Research Network. Asian Research Institute for International Social Work, Shukutoku Uni., pp.29-30, 9.2017
35. Herath, H.M.D.R. (2017) Building of the Working Framework of the Buddhist Social Work: Keynote Speech. In: Akimoto, T., Gohori, J., Sakamoto, E. (eds.) How Is Asian How is Asian Buddhism Involved in People's Life? : Exploring the Buddhist Social Work. Building the Asian Buddhist Social Work Research Network. Asian Research Institute for International Social Work, Shukutoku Uni., pp.62-67, 9.2017
36. Hoa, N.T.K. (2017) Buddhism in Vietnam: From Philanthropy to Buddhist Social Work. In: Akimoto, T., Gohori, J., Sakamoto, E. (eds.) How Is Asian How is Asian Buddhism Involved in People's Life? : Exploring the Buddhist Social Work. Building the Asian Buddhist Social Work Research Network. Asian Research Institute for International Social Work, Shukutoku Uni., pp.52-55, 9.2017
37. Loan, N.H. (2017) Building of the Working Framework of the Buddhist Social Work: Keynote Address. In: Akimoto, T., Gohori, J., Sakamoto, E. (eds.) How Is Asian How is Asian Buddhism Involved in People's Life? : Exploring the Buddhist Social Work. Building the Asian Buddhist Social Work Research Network. Asian Research Institute for International Social Work, Shukutoku Uni., pp.68-71, 9.2017
38. Namdaldagva, O.E. (2017) Characteristics of Buddhist Social Work in Mongolia. In: Akimoto, T., Gohori, J., Sakamoto, E. (eds.) How Is Asian How is Asian Buddhism Involved in People's Life? : Exploring the Buddhist Social Work. Building the Asian Buddhist Social Work Research Network. Asian Research Institute for International Social Work, Shukutoku Uni., pp.31-33, 9.2017
39. Onopas, S., Congboonwasana, P.S. (2017) Development of Buddhist Social Work in Thailand. In: Akimoto, T., Gohori, J., Sakamoto, E. (eds.) How Is Asian How is Asian Buddhism Involved in People's Life? : Exploring the Buddhist Social Work. Building the Asian Buddhist Social Work Research Network. Asian Research Institute for International Social Work, Shukutoku Uni., pp.39-44, 9.2017
40. Sanesathid, O. (2017) The Current Situation on Buddhist Social Work in Lao PDR. In: Akimoto, T., Gohori, J., Sakamoto, E. (eds.) How Is Asian How is Asian Buddhism Involved in People's Life? : Exploring the Buddhist Social Work. Building the Asian Buddhist Social Work Research Network. Asian Research Institute for International Social Work, Shukutoku Uni., pp.45-48, 9.2017
41. Thapa, R.B. (2017) Buddhist Social Work in Nepal. In: Akimoto, T., Gohori, J., Sakamoto, E. (eds.) How Is Asian How is Asian Buddhism Involved in People's Life? : Exploring the Buddhist Social Work. Building the Asian Buddhist Social Work Research Network. Asian Research Institute for International Social Work, Shukutoku Uni., pp.49-51, 9.2017
42. Thinley, D. (2017) Development of Buddhist Social Work in Bhutan. In: Akimoto, T., Gohori, J., Sakamoto, E. (eds.) How Is Asian How is Asian Buddhism Involved in People's Life? : Exploring the Buddhist Social Work. Building the Asian Buddhist Social Work Research Network. Asian Research Institute for International Social Work, Shukutoku Uni., pp.34-38, 9.2017
43. Vichith, K. (2017) Activities Provided by the Buddhist Organization in Cambodia. In: Akimoto, T., Gohori, J., Sakamoto, E. (eds.) How Is Asian How is Asian Buddhism Involved in People's Life? : Exploring the Buddhist Social Work. Building the Asian Buddhist Social Work Research Network.

法人番号	131044
プロジェクト番号	S1591002L

- Asian Research Institute for International Social Work, Shukutoku Uni., pp.22-28, 9.2017
44. Wickramasinghe, A. (2017) Building of the Working Framework of the Buddhist Social Work: Keynote Address. In: Akimoto, T., Gohori, J., Sakamoto, E. (eds.) How Is Asian How is Asian Buddhism Involved in People's Life? : Exploring the Buddhist Social Work. Building the Asian Buddhist Social Work Research Network. Asian Research Institute for International Social Work, Shukutoku Uni., pp.72-78, 9.2017
45. 齊藤 鉄也 テキストマイニングを用いたアンケート分析 ― 仏教系団体による東日本大震災の支援活動の調査 ―「生産管理」日本生産管理学会論文誌 Vol.24, No.2, 2017.10 pp.37 - pp.42
46. 秋元樹(監)、佐藤成道、郷堀ヨゼフ(編)『アジアの仏教は人々の生活の問題にどうはたらくか―仏教ソーシャルワークの探求― ―アジア仏教ソーシャルワーク研究ネットワークの形成―〈学術フォーラム報告書〉』淑徳大学 アジア国際社会福祉研究所、2017年11月
47. \*47 ポビー(2017)「パラヒタ“Parahita”ミャンマーにおける仏教ソーシャルワークのモデル例」秋元樹(監)、佐藤成道、郷堀ヨゼフ(編)『アジアの仏教は人々の生活の問題にどうはたらくか―仏教ソーシャルワークの探求― ―アジア仏教ソーシャルワーク研究ネットワークの形成―〈学術フォーラム報告書〉』淑徳大学 アジア国際社会福祉研究所、2017年11月
48. チャン・ボラ(2017)「カンボジアにおけるソーシャルワーク教育の進展」秋元樹(監)、佐藤成道、郷堀ヨゼフ(編)『アジアの仏教は人々の生活の問題にどうはたらくか―仏教ソーシャルワークの探求― ―アジア仏教ソーシャルワーク研究ネットワークの形成―〈学術フォーラム報告書〉』淑徳大学 アジア国際社会福祉研究所、2017年11月
49. トゥメクウ・ブルガン(2017)「モンゴルでの仏教ソーシャルワーク」秋元樹(監)、佐藤成道、郷堀ヨゼフ(編)『アジアの仏教は人々の生活の問題にどうはたらくか―仏教ソーシャルワークの探求― ―アジア仏教ソーシャルワーク研究ネットワークの形成―〈学術フォーラム報告書〉』淑徳大学 アジア国際社会福祉研究所、2017年11月
50. H.M.D.R.ヘラ(2017)「アジアの仏教は、人々の生活にどう関わっているのか」秋元樹(監)、佐藤成道、郷堀ヨゼフ(編)『アジアの仏教は人々の生活の問題にどうはたらくか―仏教ソーシャルワークの探求― ―アジア仏教ソーシャルワーク研究ネットワークの形成―〈学術フォーラム報告書〉』淑徳大学 アジア国際社会福祉研究所、2017年11月
51. グエン・ティ・キム・ホア、グエン・ティ・タイ・ラン(2017)「ベトナムにおける仏教ソーシャルワークの現状」秋元樹(監)、佐藤成道、郷堀ヨゼフ(編)『アジアの仏教は人々の生活の問題にどうはたらくか―仏教ソーシャルワークの探求― ―アジア仏教ソーシャルワーク研究ネットワークの形成―〈学術フォーラム報告書〉』淑徳大学 アジア国際社会福祉研究所、2017年11月
52. グエン・ホイ・ロアン(2017)「ベトナムの仏教―慈善から仏教ソーシャルワークへ」秋元樹(監)、佐藤成道、郷堀ヨゼフ(編)『アジアの仏教は人々の生活の問題にどうはたらくか―仏教ソーシャルワークの探求― ―アジア仏教ソーシャルワーク研究ネットワークの形成―〈学術フォーラム報告書〉』淑徳大学 アジア国際社会福祉研究所、2017年11月
53. オウト・エルデネ ナムダルダグヴァ(2017)「モンゴルの仏教ソーシャルワークの特徴」秋元樹(監)、佐藤成道、郷堀ヨゼフ(編)『アジアの仏教は人々の生活の問題にどうはたらくか―仏教ソーシャルワークの探求― ―アジア仏教ソーシャルワーク研究ネットワークの形成―〈学術フォーラム報告書〉』淑徳大学 アジア国際社会福祉研究所、2017年11月
54. ソパ・オノパス、ファラマハ・スライ・コンブーンワサナ(2017)「タイにおける仏教ソーシャルワークの発展」秋元樹(監)、佐藤成道、郷堀ヨゼフ(編)『アジアの仏教は人々の生活の問題にどうはたらくか―仏教ソーシャルワークの探求― ―アジア仏教ソーシャルワーク研究ネットワークの形成―〈学術フォーラム報告書〉』淑徳大学 アジア国際社会福祉研究所、2017年11月
55. オウトムフォン・サネサシッド(2017)「ラオスにおける仏教ソーシャルワークの現状」秋元樹(監)、佐藤成道、郷堀ヨゼフ(編)『アジアの仏教は人々の生活の問題にどうはたらくか―仏教ソ

法人番号	131044
プロジェクト番号	S1591002L

- ーシャルワークの探求ー —アジア仏教ソーシャルワーク研究ネットワークの形成—〈学術フォーラム報告書〉』淑徳大学 アジア国際社会福祉研究所、2017年11月
- 56.ラジェンドラ・タパ(2017)「ネパール社会における仏教ソーシャルワーク」。秋元樹(監)、佐藤成道、郷堀ヨゼフ(編)『アジアの仏教は人々の生活の問題にどうはたらくか—仏教ソーシャルワークの探求— —アジア仏教ソーシャルワーク研究ネットワークの形成—〈学術フォーラム報告書〉』淑徳大学 アジア国際社会福祉研究所、2017年11月
- 57.ドルジ・ティンレイ(2017)「ブータンでの仏教ソーシャルワーク—代表的なケース」。秋元樹(監)、佐藤成道、郷堀ヨゼフ(編)『アジアの仏教は人々の生活の問題にどうはたらくか—仏教ソーシャルワークの探求— —アジア仏教ソーシャルワーク研究ネットワークの形成—〈学術フォーラム報告書〉』淑徳大学 アジア国際社会福祉研究所、2017年11月
- 58.ケオ・ヴィチット(2017)「カンボジアにおける仏教ソーシャルワークの現状」。秋元樹(監)、佐藤成道、郷堀ヨゼフ(編)『アジアの仏教は人々の生活の問題にどうはたらくか—仏教ソーシャルワークの探求— —アジア仏教ソーシャルワーク研究ネットワークの形成—〈学術フォーラム報告書〉』淑徳大学 アジア国際社会福祉研究所、2017年11月
59. アヌラダ・ウィクラマシンゲ(2017)「グリーンソーシャルワークに焦点を当てた仏教ソーシャルワーク」。秋元樹(監)、佐藤成道、郷堀ヨゼフ(編)『アジアの仏教は人々の生活の問題にどうはたらくか—仏教ソーシャルワークの探求— —アジア仏教ソーシャルワーク研究ネットワークの形成—〈学術フォーラム報告書〉』淑徳大学 アジア国際社会福祉研究所、2017年11月

#### <図書>

1. \*1 Gohori (ed.) From Western-rooted Professional Social Work to Buddhist Social Work. Research Series “Exploring Buddhist Social Work” No.0, ARIISW – Gakubunsha, Tokyo: 2017
2. \*2 Hoi Loan (ed.) Vietnam Buddhism: From Charity to Buddhist Social Work. Research Series “Exploring Buddhist Social Work” No.2, ARIISW – Gakubunsha, Tokyo: 2017
3. \*3 Gohori, Ogawa (eds.) Growth of the Buddhist Social Work Activities in Mongolia. Series “Exploring Buddhist Social Work” No.1, ARIISW – Gakubunsha, Tokyo: 2017
4. \*4 郷堀(編)『西洋生まれ専門職ソーシャルワークから仏教ソーシャルワークへ』研究シリーズ「仏教ソーシャルワークの探求 0号」淑徳大学アジア国際社会福祉研究所・学文社、2018年
5. \*5 Demberel, Altaibaatar, Erdene, Ogawa, Gohori (eds.) Growth of the Buddhist Social Work Activities in Mongolia. Series “Exploring Buddhist Social Work” No.1, ARIISW – Mongolia National University, Ulaanbaatar 2018 ※モンゴル語

#### <学会発表>

1. \*1 菊池 結「災害時に備えての仏僧のためのソーシャルワーク情報共有システム」報告 ソーシャルワーク教育社会開発世界会議(韓国ソウル、国際ソーシャルワーク学校連盟(IASSW)・国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)・国際社会福祉協議会(ICSW)主催、2016年6月27-30日。
2. Gohori, J. (2016) Looking for Buddhist “social work”: New Perspectives of Social Work based on Buddhist Principles and Practice. In: ASEAN Economic Community International Buddhist Conference on “Buddhist Harmony in AEC: Regional and World Peace”. July 24 2016, Phnom Penh, Cambodia
3. Gohori, J. (2016) NEW PERSPECTIVES OF SOCIAL WORK IN ASIA – on the cultural background of social work. In: FIRST ASIA PACIFIC SUMMIT OF SOCIAL WORKERS, 5–8 October 2016, Vladivostok, Island Russki, Far East Federal University, Russia
4. \*4 松尾加奈「ムスリムによる“ソーシャルワーク”はどのように行われているのか—の知から学ぶ—(How does “Social Work” Activities Operated by Muslim in Asia – Learning from the



法人番号	131044
プロジェクト番号	S1591002L

Indigenous Knowledge -)」、「2017 年ソーシャルワーク・教育・社会開発アフリカ合同会議(Africa Joint Conference Social Work, Education and Social Development 2017 “Embracing Evidence-Based Practice for Environmental Protection and Sustainable Development”)(平成 29 年 6 月 25-28 日、ザンビア・リビングストーン)分科会口頭発表

5. 渡邊義昭、「東日本大震災を契機とした、地域社会・社会福祉協議会と宗教施設(仏教寺院・神社等)との連携に関するアンケート調査 中間報告 1」9月 10 日、日本仏教社会福祉学会第 52 回大会研究発表(共同研究者、淑徳大学・藤森雄介、大正大学・鷲見宗信、浄土宗総合研究所・宮坂直樹、宮城県女川町社会福祉協議会・須田めぐみ、全日本仏教青年会・中村悟真)。
6. 藤森雄介、「東日本大震災を契機とした、地域社会・社会福祉協議会と宗教施設(仏教寺院・神社等)との連携に関するアンケート調査 中間報告 2」9月 10 日、日本仏教社会福祉学会第 52 回大会研究発表(共同研究者、淑徳大学・渡邊義昭、大正大学・鷲見宗信、浄土宗総合研究所・宮坂直樹、宮城県女川町社会福祉協議会・須田めぐみ、全日本仏教青年会・中村悟真)。
7. \*7 郷堀ヨゼフ 「ソーシャルワークの文化的背景(Cultural Background of Social Work: Exploring the Buddhist Social Work)」第 24 回アジア太平洋地域ソーシャルワーク合同会議(2017 Asia-Pacific Joint Regional Social Work Conference: Challenges and Responsibilities: Innovative Social Work and Sustainable Development)(平成 29 年 9 月 26~29 日、中国・深圳)での分科会口頭発表
8. \*8 松尾加奈「”ソーシャルワーク”とアジアの宗教(“Social Work” and Religion in Asia)」、「第 24 回アジア太平洋地域ソーシャルワーク合同会議(2017 Asia-Pacific Joint Regional Social Work Conference: Challenges and Responsibilities: Innovative Social Work and Sustainable Development)(平成 29 年 9 月 26~29 日、中国・深圳)での分科会口頭発表
9. \*9 藤森雄介、松尾加奈、「日本の社会福祉カリキュラムで”仏教ソーシャルワーク“は以下に教えられているか?(How Is “Buddhist Social Work” Taught in the Japanese Certified Social Welfare Curriculum?)」、「”仏教ソーシャルワーク“国際専門家会議(平成 29 年 12 月 5~6 日、ベトナム・ハノイ)での口頭発表

#### <研究成果の公開状況>(上記以外)

シンポジウム・学会等の実施状況、インターネットでの公開状況等  
ホームページで公開している場合には、URL を記載してください。  
<既に実施しているもの>

- ホームページ公開(H29 年 3 月~) URL : <http://bukkyoplatform.com>
- シンポジウム
  1. 国際フォーラム開催 『仏教“ソーシャルワーク”と西洋専門職ソーシャルワーク~次の第一歩~』と題して、淑徳大学にて実施 平成 27 年 10 月 9・10 日。
  2. 「災害支援情報交換会」(全日本仏教会主催、平成 27 年 11 月 27 日、明照会館 4 階第 1 会議室)、講師務として、「仏教プラットフォーム」を説明
  3. 菊池 結 「災害時に備えての仏僧のためのソーシャルワーク情報共有システム」報告 ソーシャルワーク教育社会開発世界会議(韓国ソウル、国際ソーシャルワーク学校連盟(IASSW)・国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)・国際社会福祉協議会(ICSW)主催、2016 年 6 月 27-30 日。
  4. Gohori, J. (2016) ASEAN Economic Community International Buddhist Conference on “Buddhist Harmony in AEC: Regional and World Peace”. Domestic and international audience of about 500-600 participants from the 10 ASEAN countries and Europe. July 24 2016, Phnom Penh, Cambodia. (郷堀 ヨゼフ 「ソーシャルワークワークの文化的・宗教的背景について」関するレクチャーを行った ASEAN 経済共同体(AEC)主催の国際会議「Buddhist Harmony in AEC: Regional and World

法人番号	131044
プロジェクト番号	S1591002L

Peace」(カンボジア・プノンペン)2016年7月24日。]

5. 国際社会開発コンソーシアム(international Consortium for Social Development; ICSD)アジア太平洋支部及びペラデニヤ大学による国連 SDGs に関する国際会談スリランカ・ペラデニヤ大学)への出席、セッション議長(秋元所長) 平成 28 年 9 月 29-30 日、
6. 郷堀 ヨゼフ「仏教ソーシャルワークの探求」に関する報告 ロシア・ウラジオストックの極東連邦大学(The Far Eastern Federal University)にて開催された「アジア太平洋ソーシャルワーカー・サミット」Asia Pacific Summit of Social Workers」2016 年 10 月 5-8 日。
7. 日本社会事業大学主催の環太平洋社会福祉セミナー(東京の第 1 セッション「宗教とソーシャルワーク: イスラム“ソーシャルワークはどのように行われているのか」について共催 平成 28 年 12 月 10 日
8. 秋元・藤森・郷堀・松尾 第 25 回環太平洋社会福祉セミナー「グローバル社会におけるアジア地域のソーシャルワークを構築する: 第 1 セッション「宗教とソーシャルワーク: イスラム”ソーシャルワーク”はどのように行われているのか」(平成 28 年 12 月 10 日)コーディネイター(松尾)及びディスカッション
9. アジア仏教主要国を招いての第 2 回国際学術フォーラムを主催 平成 29 年 3 月 22-23 日
10. スリランカとの共同研究 PBR の最終報告会議「フォーラム・プラス」を本研究所にて開催 平成 29 年 3 月 24 日、
11. Gohori, J. (2018) Cultural Background of Social Work: Exploring the Buddhist Social Work. In: International Conference on Social Work and Sustainable Social Development, January 3-6, 2018: Sylhet, Bangladesh バングラデシュ、シルヘット市で開催されたソーシャルワーク及び持続可能開発に関する国際カンファレンスにスピーカーとして出席。2018 年 1 月。

● 講演会

<これから実施する予定のもの>

1) 報告書

- ① 平成 29 年 12 月にハノイで開催された専門家会議の学術報告をまとめて発行(翻訳作業(ベトナム語、英語を用いた会議だったため)に時間を要する。報告書を作成(英文、和文両方を発行予定)
- ②「被災地社協調査」に関する報告書を平成 30 年度中に発行予定。

2) 書籍

英文のみならず、和文、そして現地での情報発信を促すために現地の言語でも 3 通りの発行。

- ① ラオス(英文)原稿確定済み。ネイティブ再チェックを終え、平成 30 年 5 月上旬に編集を開始。平成 30 年 6 月下旬を目途に出版予定。
- ② ラオス(和文)和訳原稿を再度確認中。修正を経て、平成 30 年 6 月上旬に確定原稿をまとめる。平成 30 年 7 月を目途に出版予定)
- ③ ラオス(ラオ語)原稿を再度確認中。修正を経て、平成 30 年 6 月上旬に確定原稿をまとめる。平成 30 年 7 月を目途に出版予定)
- ④ タイ(英文)原稿確定済み。ネイティブ再チェックを終え、平成 30 年 5 月上旬に編集を開始。平成 30 年 7 月を目途に出版予定。
- ⑤ タイ(和文)英文のチェック済み原稿を基に、平成 30 年 6 月中旬を目途に翻訳作業、校正作業を開始。
- ⑥ タイ(タイ語)英文のチェック済み原稿と照らし合わせて、原稿を確定。平成 30 年 9 月を目途に出版予定。
- ⑦ モンゴル(和文)平成 30 年 5 月に訳文修正を終え、平成 30 年 6 月から編集開始。平成 30 年 9

法人番号	131044
プロジェクト番号	S1591002L

月を目途に出版予定。

- ⑧ ベトナム(和文)平成 30 年 6 月に訳文修正を終え、平成 30 年 7 月から編集開始。平成 30 年 10 月を目途に出版予定。
- ⑨ ベトナム(ベトナム語)原稿確定済み。平成 30 年 6 月を目途に出版予定。
- ⑩ スリランカ(英文)平成 30 年度中に出版予定
- ⑪ スリランカ(シンハル語) 平成 30 年度中に出版予定
- ⑫ スリランカ (和文) 平成 30 年度中に翻訳し編集を開始する予定

### 3)研究発表

・海外開催のソーシャルワークの国際会議のみならず、平成 30 年度は国内に向けて研究成果発信を行う(日本社会福祉学会、仏教社会福祉学会、仏教看護・ビハーラ学会などで発表を行う予定)

### 4)学術フォーラム・セミナー

平成 30 年 9 月 モンゴル

・モンゴルにおける仏教ソーシャルワーク研究について、国内に向けて研究成果発信。

平成 30 年～31 年度

仏教ソーシャルワークに関する学術フォーラム

ハノイ会議に続いて仏教ソーシャルワークの定義等の議論を深める。

## 14 その他の研究成果等

「12 研究発表の状況」で記述した論文、学会発表等以外の研究成果及び企業との連携実績があれば具体的に記入してください。また、上記11(4)に記載した研究成果に対応するものには\*を付してください。

## 15 「選定時」に付された留意事項とそれへの対応

<「選定時」に付された留意事項>

大学の個性を生かした研究テーマであるが、多数の国を対象に比較研究を行うことの意味がやや読み取りにくい。方法論を精緻化することが望まれる。

<「選定時」に付された留意事項への対応>

ご指摘頂いた留意事項を踏まえ、単なる比較研究ではなく、①各国の研究者、実践者に対して研究の趣旨をご理解頂いた上で対等な共同研究者として信頼関係を作り、②各国の研究者も主体的に調査研究に取り組むことで行い、③その成果については本研究に参加する全ての国々に共有することを目指して研究を進めてきた。その結果、2年目の平成 28 年度開催の国際学術フォーラムでは各国から参加者と、仏教ソーシャルワークの概念化に向けた踏み込んだ議論を行うことが出来、日本を超えて諸外国と結ぶ研究基盤(研究ネットワーク)の形成に向けての大きな一歩を踏み出す

法人番号	131044
プロジェクト番号	S1591002L

ことが出来ている。

法人番号	131033
プロジェクト番号	S1591002L

## 16 施設・装置・設備・研究費の支出状況(実績概要)

(千円)

年度・区分	支出額	内 訳						備考
		法人負担	私学助成	共同研究機関負担	受託研究等	寄付金	その他( )	
平成27年度	施設	0						
	装置	0						
	設備	0						
	研究費	26,153	13,586	12,567				
平成28年度	施設	0						
	装置	0						
	設備	0						
	研究費	28,750	16,317	12,433				
平成29年度	施設	0						
	装置	0						
	設備	0						
	研究費	30,000	16,351	13,649				
総額	施設	0	0	0	0	0	0	0
	装置	0	0	0	0	0	0	0
	設備	0	0	0	0	0	0	0
	研究費	84,903	46,254	38,649	0	0	0	0
総計	84,903	46,254	38,649	0	0	0	0	

(※ 平成29年度は予定額)

## 17 施設・装置・設備の整備状況 (私学助成を受けたものはすべて記載してください。)

《施設》(私学助成を受けていないものも含め、使用している施設をすべて記載してください。)

(千円)

施設の名 称	整備年度	研究施設面積	研究室等数	使用者数	事業経費	補助金額	補助主体

※ 私学助成による補助事業として行った新增築により、整備前と比較して増加した面積

\_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

法人番号	131033
プロジェクト番号	S1591002L

《装置・設備》(私学助成を受けていないものは、主なもののみを記載してください。)

(千円)

装置・設備の名称	整備年度	型番	台数	稼働時間数	事業経費	補助金額	補助主体
(研究装置)				h			
				h			
				h			
				h			
(研究設備)				h			
				h			
				h			
				h			
(情報処理関係設備)				h			
				h			
				h			
				h			

## 18 研究費の支出状況

(千円)

年度	平成 27 年度		
小科目	支出額	積算内訳	
		主な用途	金額
教育研究経費支出			
消耗品費	2,236	パソコン周辺機器、文具	2,236
光熱水費	0		0
通信運搬費	745	郵便費、運搬費、通信費	745
印刷製本費	2,814	成果報告、案内状作成	2,814
旅費交通費	4,981	研究調査旅費	4,981
報酬・委託料	12,540	業務・作業委託	12,540
(上記外の費用)	1,151	賃貸、会費、会議費	1,151
計	24,467		24,467
アルバイト関係支出			
人件費支出 (兼務職員)	0		0
教育研究経費支出			
計	0		0
設備関係支出(1個又は1組の価格が500万円未満のもの)			
教育研究用機器備品	1,677	研究用機器	1,677
図書			
計	1,677		1,677
研究スタッフ関係支出			
リサーチ・アシスタント			
ポスト・ドクター			
研究支援推進経費			
計	0		

年度	平成 28 年度		
小科目	支出額	積算内訳	
		主な用途	金額
教育研究経費支出			
消耗品費	4,409	パソコン周辺機器・文具	4,409
光熱水費	0		0
通信運搬費	272	郵便費、運搬費、通信費	272
印刷製本費	595	成果報告、案内状作成費	595

		法人番号	131033
		プロジェクト番号	S1591002L
旅費交通費	9,411	研究調査旅費	9,411
報酬・委託料	7,689	業務・作業委託	7,689
(上記外の費用)	4,474	賃貸、会費、会議費	4,474
計	26,850		26,850
ア ル バ イ ト 関 係 支 出			
人件費支出 (兼務職員)	1,164	事務補助	1,164
教育研究経費支出			
計	1,164		1,164
設 備 関 係 支 出(1個又は1組の価格が500万円未満のもの)			
教育研究用機器備品	731	研究用機器	731
図 書			
計	731		731
研 究 ス タ ッ プ 関 係 支 出			
リサーチ・アシスタント			
ポスト・ドクター			
研究支援推進経費			
計	0		

年 度	平成 29 年度		
小 科 目	支 出 額	積 算 内 訳	
		主 な 使 途	金 額
主 な 内 容			
教 育 研 究 経 費 支 出			
消耗品費	2,583	パソコン周辺機器、文具	2,583
光熱水費	0		0
通信運搬費	90	郵便費、運搬費、通信費	90
印刷製本費	1,608	英和文報告書印刷製本	1,608
旅費交通費	5,687	研究調査旅費	5,687
報酬・委託料	18,318	構築委託・叢書制作・事務委託	18,318
(上記外の費用)	332	賃貸、会費、会議費	332
計	28,618		28,618
ア ル バ イ ト 関 係 支 出			
人件費支出 (兼務職員)	0		0
教育研究経費支出			
計	0		0
設 備 関 係 支 出(1個又は1組の価格が500万円未満のもの)			
教育研究用機器備品	1,376	パソコン周辺機器、研究用機器	1,376
図 書			
計	1,376		1,376
研 究 ス タ ッ プ 関 係 支 出			
リサーチ・アシスタント			
ポスト・ドクター			
研究支援推進経費			
計	0		